



2022年8月期第3四半期 決算説明資料

2022年7月

I. 当社の概要

経営方針：**IT技術教育（人材育成）によりビジネスを創造し、 社会の発展に貢献する**

社名	: 株式会社セラク（英文名 SERAKU Co.,Ltd.）
設立	: 1987年12月
代表者	: 代表取締役 宮崎龍己
資本金	: 306,232,300円（2022年6月30日現在）
従業員数	: 連結 3,245名（2022年5月31日現在）
所在地	: 東京都新宿区西新宿7-5-25 西新宿プライムスクエア
グループ会社	: 株式会社ピースエンジニアリング（100%子会社） : 株式会社セラクE C A（100%子会社）
市場	: 東京証券取引所プライム市場（証券コード6199）

当社のビジネスモデル

新技術領域に対する「教育型IT人材創出モデル」をベースに、積上継続型の収益構造と成長領域への投資により高い成長を実現

ITシステム構築・運用

システムインテグレーション (SI)領域	デジタルトランスフォーメーション (DX)領域
<ul style="list-style-type: none"> ITシステム構築・運用（長期継続） 産業別IT支援（堅調なITニーズ） 	<ul style="list-style-type: none"> クラウド領域・カスタマーサクセス領域（企業ニーズが顕在化・拡大するDX領域）

技術トレンドの変化や企業ニーズ変容に追従し、
採用・教育・営業の三位一体で成長

人材と技術の共有

ネットサービス

農業IT領域	デジタルヘルスケア領域
	2021年8月ベータ版リリース

成長性の高い社会課題に
投資を集中

市場拡大が見込め、人材が充足していない新しい技術領域に対して、自社での教育により人材を創出



教育型IT人材創出

<ul style="list-style-type: none"> 自社で採用・育成を行うことでITエンジニアを早期に数多く創出することが可能 市況が良ければ人材に積極投資を行い、中長期的な売上規模拡大につなげる 市況が悪い場合は、採用を抑えて利益創出を優先する 	<p>採用力 × 教育力 × 営業力</p> <p>4,000名以上の人材創出実績と 最新プロジェクトから還元される実践ノウハウ</p>
---	---

当社の優位性

採用力

- 成長業界であるIT領域に移動を促す採用活動（IT業界では未経験だが社会経験があり成長ポテンシャルの高い人材を採用）
- 新卒採用だけでなく、通年、全国規模、正社員雇用で採用活動を展開
- 研修制度や魅力あるサービスを手掛けていることが入社意欲に作用し、月間最大3,000名応募

教育力

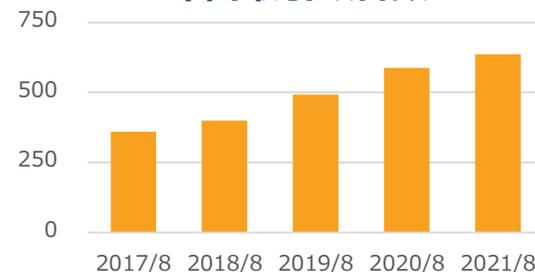
- 入社後2～3ヶ月で案件アサインを可能とする初期教育プログラムを確立
- 案件で使用する実機環境を再現した実践プロジェクト型研修を充実
- ノウハウ・技術を社内でシェアしスキルアップを促す「セラク情熱大学」



営業力

- 新規取引先を年間100社以上開拓
- 大手SIer各社との安定的な取引基盤
- IT運用に課題を持つ幅広い業種・業態において取引先を分散

年間取引顧客数



当社の事業セグメントおよびサービス領域

長期安定的な成長を実現するSI事業分野を土台に、DX事業分野での高付加価値・高成長を目指す

デジタルトランスフォーメーション (DX)

成長可能性が高い領域にフォーカスし、社会変革と高成長性を実現する

クラウド&ソリューション事業

- インフラソリューション
- IoTクラウドサポートセンター
- サイバーセキュリティ

カスタマーサクセスソリューション事業

- Salesforce.com 導入・定着化
- マーケティングデザイン
- データサイエンス

みどりクラウド (DX)

ITの力で一次産業を支援する

みどりクラウド事業 みどりクラウド

- 農業IoTサービス「みどりクラウド」
- 畜産IoTサービス「ファームクラウド」
- 農水産ソリューション

システムインテグレーション (SI)

長期安定的なITシステム運用・保守と、ITニーズの高い産業への技術支援で規模拡大を目指す

ITシステム構築・運用・保守

- ITインフラ運用
- ITシステム運用

産業別IT支援

- 金融社会システム
- 情報通信システム
- エンタープライズシステム
- サービスマネジメント
- QA (品質保証領域)

機械設計エンジニアリング

 OS ピースエンジニアリング

DX クラウド&ソリューション事業

- 企業ICT環境のクラウド化（インフラ・IoT）を設計構築・運用・監視・セキュリティまでトータルサポート
- コロナ禍を経て急拡大する市場ニーズに対し、DXシフトでのエンジニア創出とアライアンス強化で成長

IoT/クラウドサポートセンター

24h/365d体制で、クラウドインフラやIoTサービスの運用を提供

24h365d運用体制

高セキュリティ&災害耐性施設

IoTシステム向けMSPサービス

業務提携

運用自動化&AI活用

SOC
セキュリティオペレーションセンター

サイバーセキュリティ

脆弱性診断サービス、セキュリティ製品導入から運用支援まで幅広く提供

脆弱性診断サービス

SOC運用支援
体制構築支援（SOCエンジニア常駐）

セキュリティ製品の導入
エンドポイント/UTM/CASB/VDI 他

※取扱商材（業務提携）の拡充を図る

クラウドインフラソリューション

企業ICT環境のクラウド化を幅広く支援

設計・構築サービス

サーバ
Linux/Windows/UNIX

NWインフラ

仮想化/HCI

クラウド

各種キitting

2020年9月より日本マイクロソフト社の「クラウド& AI人材育成プログラム」を活用
2022年8月期はMicrosoft資格年間取得数250を目指す

DX カスタマーサクセスソリューション事業

SFA/CRM領域で高いシェアを持つSalesforceプラットフォームに特化し、DXシフトでのエンジニア育成に注力

Salesforce定着化支援サービス

急速な市場の伸びを背景に既に300社以上の支援実績
オンサイト型・リモート型での定着化支援を提供



定着化アセスメントプログラム

定着化支援サービス

Salesforce管理者支援サービス

マーケティングデザイン



- Salesforce Pardot / Marketing Cloud 運用
- 企業における顧客情報を起点としたデジタルマーケティングを支援

データサイエンス



- データサイエンスエンジニアによるTableau運用
- 顧客情報を中心としたデータサイエンス、ビジネスインテリジェンスを支援

中堅・中小企業の多様なDX推進ニーズへのソリューションを提供する「りそなデジタルハブ社」への資本参加



- 2022年4月1日に設立した「りそなデジタルハブ社」（略称：RDH）へ出資し、合併事業を開始。
- RDHはりそなグループがもつ中堅・中小企業の顧客に対し様々なITソリューションをワンストップで紹介出来るプラットフォームを構築し、顧客の生産性向上・競争力強化を支援。
- RDH独自の顧客サクセスプランにおけるSalesforce定着化支援を当社の人材が担い、当社がこれまで養ってきたSalesforce、Microsoftなどのクラウドサービスを活用したDXソリューション・内製化支援を提供。

NTTデータ社を中心に協業体制を強化、定着化支援サービスによってDX推進を支援



- 2021年4月NTTデータ社と協業し、ビジネス変革支援サービスを共同で立ち上げ。
- 2021年7月ネットイヤーグループ社と協業し、「Pardot」の定着化支援事業を強化。
- 2021年7月ウイングアーク1st社と協業し、定着化支援事業を拡張。
- 2021年12月インテジテクノスフィア社と協業し、「Tableau」の定着化支援事業を強化。



DX カスタマーサクセスソリューション事業

市場トレンドを加味した教育カリキュラムにアップデート

市場傾向としてMAツール、BIツールを組み合わせるSalesforceプラットフォームを利用する企業が増加
それに比例して複数製品に精通したクロスクラウド人材のニーズが高まる

従来研修

Salesforceのコアである
SFA・CRM領域が充実



新規コンテンツの追加

クロスクラウド人材の創出へ
高度な定着化支援を可能とする人材を育成



新たな付加価値

クロスクラウド人材を
初期段階から創出できることによって、
エンジニア単価が上昇

専任トレーナーの配置・資格取得支援・ナレッジの共有化によってエンジニアのスキルは向上



SalesCloud
コンサルタント
127名



Experience Cloud
コンサルタント
63名



ServiceCloud
コンサルタント
66名



アドミニストレーター
208名



Pardot
コンサルタント
42名



Tableau CRM and
Einstein Discovery
コンサルタント
7名



上級
アドミニストレーター
42名



Pardot
スペシャリスト
106名

「上位資格の取得数」と「資格取得の増加率」において
Salesforceのリソース拡大に最も貢献

Partner Award 「Top Certification of the Year」を受賞



DX デジタルヘルスケア事業

- ヘルスケア関連の法人向けクラウドサービスとして、2021年8月ベータ版リリース
- 「健康経営の推進」「従業員の健康増進」「組織の生産性向上」に役立てることができる



「毎週1~2分」の簡単なアンケートで健康パフォーマンスをAIが測定・数値化

バイタルプログラム

2021年8月、クラウド型デジタルヘルスケアサービス「バイタルプログラム」のベータ版をリリース。2022年の商用版リリースに向けて、IT企業を中心にユーザーテストを運用中。

健康状態の可視化



浮き彫りになっていない従業員の健康課題を把握。チームや個人の生産性に直結するメンタルリスクをスコア化。

リスクをアラート



対処すべき課題がある場合、AIが的確にアラートを鳴らす。

改善策の提案



AIのアシストによって、チームや個人に対して無理のない改善策を提案する。



ヘルスケア



経済学



データサイエンス

WHO等にも採択されている先行研究をベースとし、セラクオリジナルの分析方法を実現。統計的な手法（因子分析、クラスター解析、回帰モデル等）を元に、心身の調整に影響する因子を特定し、従業員の健康パフォーマンス計測システムを開発。

簡単な操作で健康パフォーマンスを可視化し、企業の健康経営を実現



みどりクラウド事業

農水産DXプラットフォーム (IoTデバイス × クラウドサービス × データサイエンス)



農業向けプラットフォーム



畜産向けプラットフォーム

圃場環境の計測と記録

みどりモニタ/みどりボックス



IoTデバイスによって圃場の環境を計測し、クラウドへ蓄積。圃場環境の異常検知・通知を行う。



導入累計 **2,700** 件突破！

遠隔・自動環境制御

みどりモニタ 環境制御オプション



他社製品との連携による窓・カーテン・換気等の自動制御やアプリを使った遠隔操作でのコントロールを実現。



連携可能な環境制御装置

畜舎環境の計測と記録



IoTデバイスによって畜舎の環境を計測し、クラウドへ蓄積。畜舎環境や設備の異常を検知。

これまでに **140** 件の畜舎へ導入

生産計画・作業記録

みどりノート

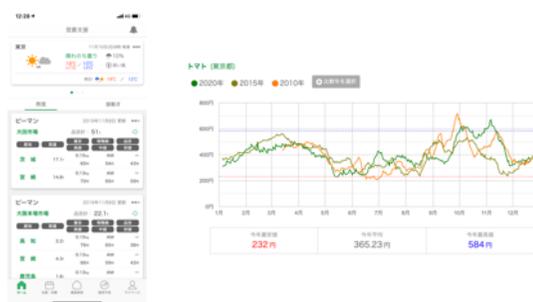


PCやスマートフォンアプリによる生産計画と作業記録の管理を支援。

**J-GAP協会推奨
農場管理システム**

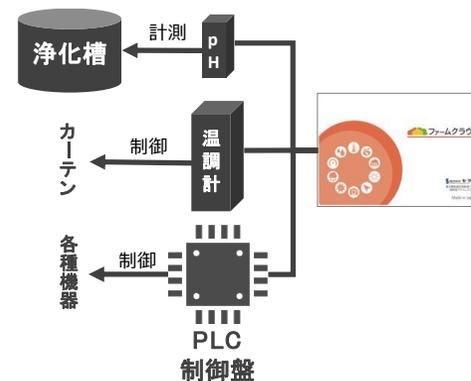
販売支援

営農支援アプリ



最新の市況情報や過去10年以上の値動きデータを可視化。農薬検索や気象予測も提供。

畜舎環境制御



畜産の現場で利用されているカーテンやPLCと連携し、環境を自動制御。

農水産ソリューション

農業生産支援プラットフォームとセラクの技術力で様々な産業のDX化を実現

農業生産支援プラットフォーム



×

セラクが保有する技術力

- AI/機械学習
- UI/UXの最適化
- システム/アプリケーション
- 通信/ネットワーク
- ハードウェア/IoT

データ化（デジタル化）

- センシング
- IoTデバイス組み込み
- データ収集
- スマートデバイスでの記録

生産性改善

- BIツールによる可視化
- UI/UX開発
- AIによる自動化・省力化
- IoTによる制御

経営改善

- 資材・飼料の最適化
- 認証取得支援
- 効率化
- 販路最適化

スマート農業技術の活用による 遠隔農業指導環境の構築

島根県農林水産部様

課題

コロナ禍により、新規就農者への現場での栽培指導が困難に

みどりクラウドを県内新規就農者へ導入することで、データに基づく遠隔栽培指導が可能な環境を構築。

データサイエンティストによるデータ分析を実施、その結果をレポートすることで県普及員のデータ活用を推進。生産者には農業技術センターの環境データを提供することで、目標とすべき管理指標を提示。



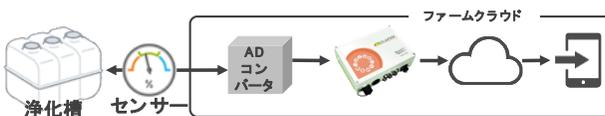
他社製品・システムとの 連携による機能拡張

畜産事業者様・農業生産者様

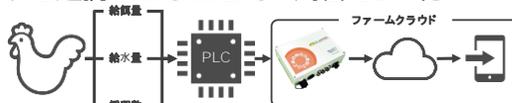
課題

生産現場で利用している機器の稼働状況を遠隔で監視したい

養豚場において浄化槽のセンサーをファームクラウドと連携させることで稼働状況を遠隔監視



鶏舎でデータを収集しているPLCとファームクラウドを連携させることで、鶏舎をIoT化



定量的なデータに基づく 栽培マニュアルの構築

南島原市様

課題

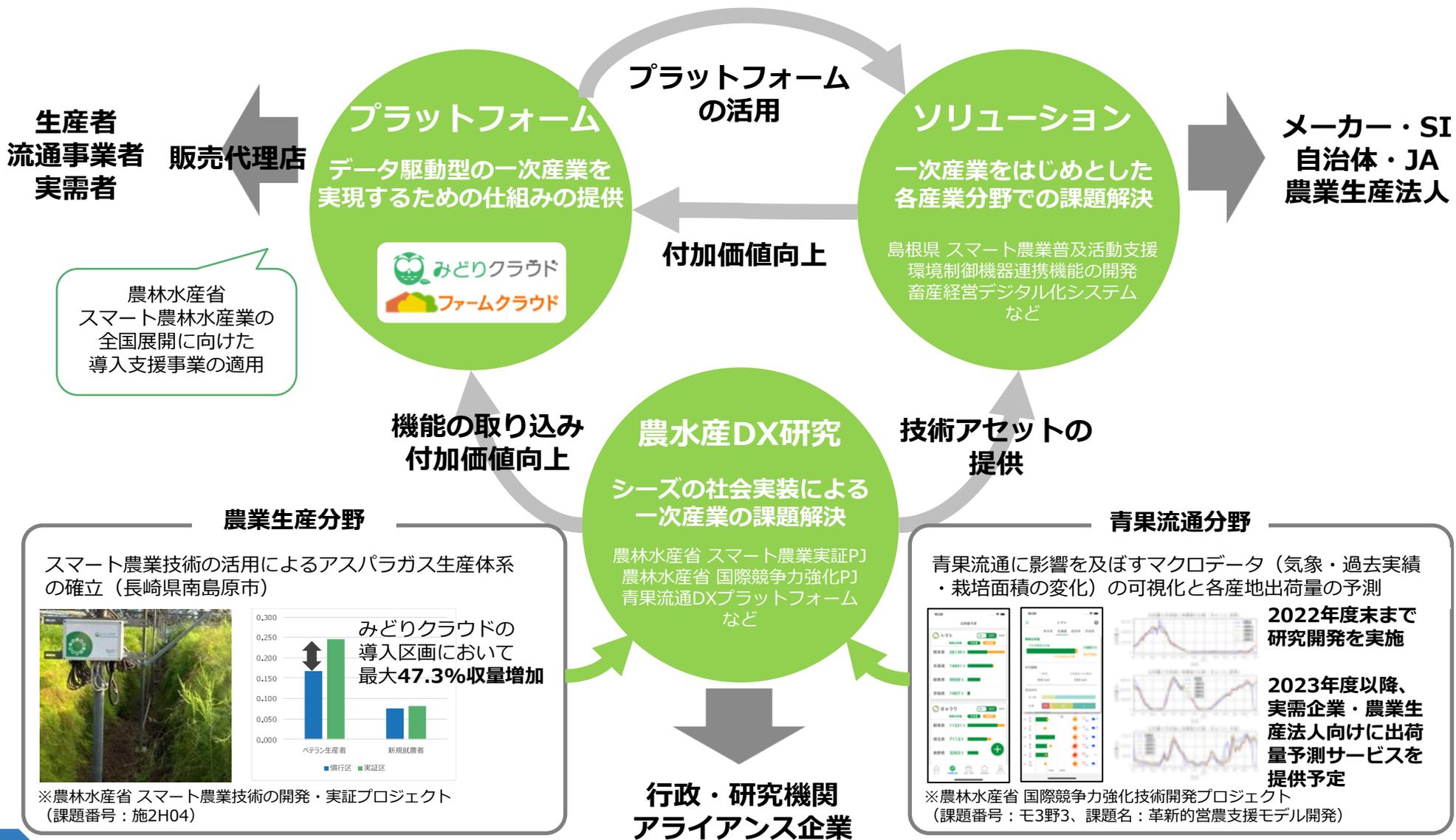
スマート農業で収集したデータが有効に活用できていない

スマート農業技術を導入している数十件の生産者のデータを分析し、各生産者における栽培の改善点をレポート。各種センサーの設置や活用方法を定型化し、スマート農業技術を活用した栽培マニュアルを整備。



みどりクラウド事業

各サービスと研究開発が相互に作用することでみどりクラウド事業全体が発展



SI システムインテグレーション事業

- 教育型IT人材創出モデルによる豊富なリソースで、幅広い市場ニーズに対応したサービスを拡大
- 長期継続のITインフラ・ITシステム運用を中心とした、ストック型ビジネスにより安定成長

ITインフラ・ITシステム運用

- システムの構築から運用、保守までのワンストップ対応
- 75%以上が長期継続を前提とした大規模運用案件
- 地方拠点（横浜・名古屋・大阪・福岡）の顧客拡大

長期継続するITインフラ・ITシステム運用案件に対し
顧客ニーズに即したエンジニアをアサイン



産業別IT支援

- 大手SIerの大規模案件、プライム案件における請負化を推進
- パートナーとの協業やアライアンスによって事業を拡大
- 業務知識を持ったIT人材の育成

特にITニーズの高い領域における専門人材の育成
大手SIerとの取引基盤の拡充による事業拡大

金融社会
システム

情報通信
システム

エンタープライズ
システム

教育型IT人材創出モデルの確立による安定した成長基盤と、DXシフトによる人材の高付加価値化

- 未経験者採用から2~3ヶ月の初期研修と実践トレーニングで案件アサインを可能にする、当社独自の「IT人材創出」が成長を下支え
- 経験を積んだ人材はDX領域のスキル習得や、プロジェクトマネージャーへのステップアップ等で高付加価値化を実現

積極的な採用活動と充実した教育体制により、更なる規模拡大に注力

Ⅱ. 2022年8月期第3四半期 決算概要

2022年8月期 第3四半期 ハイライト

エンジニア数

2,940名

通期2,880名の目標を第3四半期にて達成
第4四半期も採用を継続

四半期売上高

過去最高

46億円

売上高はエンジニア数に比例
過去最高の四半期売上高を記録

DXエンジニア割合

21%

カスタマーサクセスソリューション事業を中心に
DXエンジニアの採用も強化

稼働率

98%

積極的な採用を続けながら、
既存エンジニアの稼働率は98%台

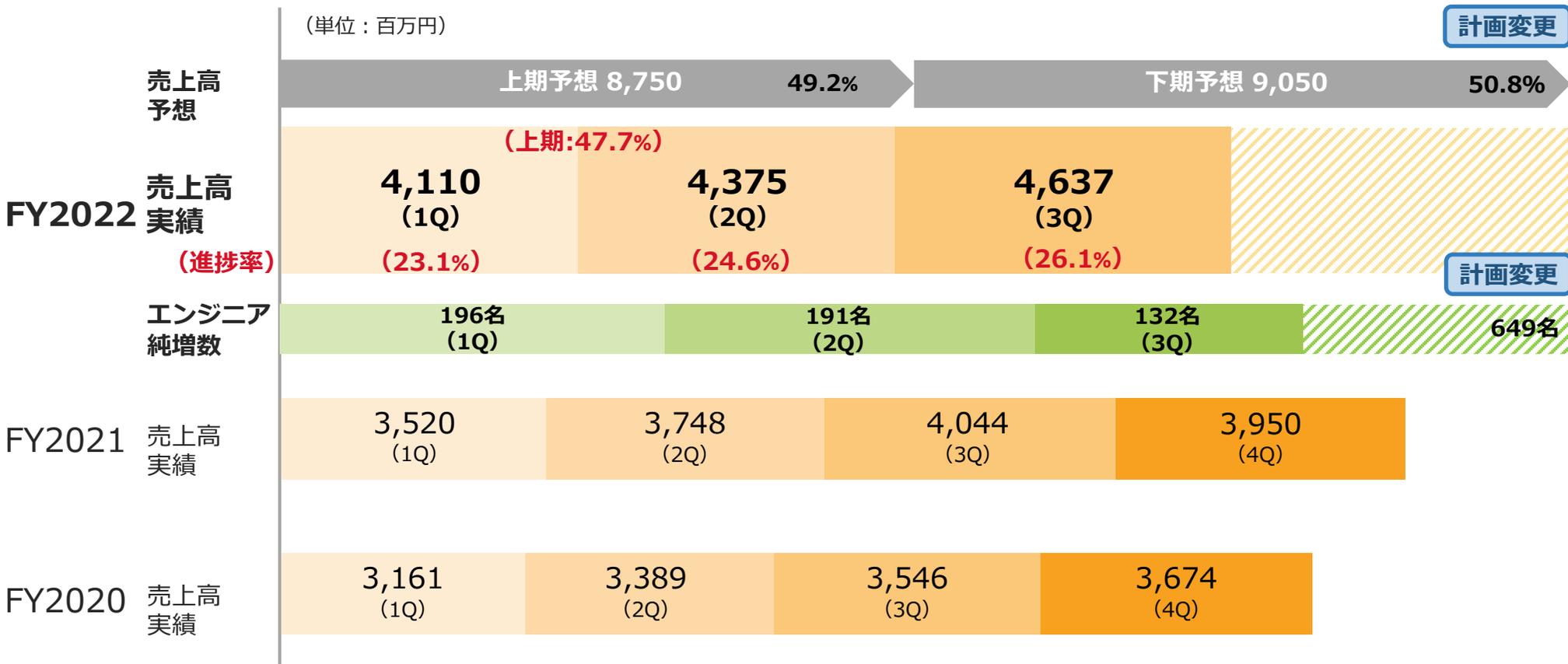
2022年8月期 第3四半期 連結業績サマリー①

- 売上高は前年同四半期対比+16.0%増収、エンジニア数の増加と共に事業規模は拡大
- 利益面は積極的な採用によって、採用・教育に関する追加の先行投資が発生
- 短期間でのアサインを可能とする営業体制の拡充が必要

	2021年8月期 3Q実績		2022年8月期 3Q実績		
	(単位：百万円)	(構成比)	(構成比)	(前年同四半期対比)	
売上高	11,313	-	13,123	-	+16.0%
売上総利益	2,800	24.8%	2,942	22.4%	+5.1%
営業利益	1,155	10.2%	695	5.3%	△39.9%
経常利益	1,582	14.0%	1,132	8.6%	△28.4%
当期純利益	963	8.5%	717	5.5%	△25.5%

2022年8月期 第3四半期 連結業績サマリー②

- 売上高は稼働エンジニア数に比例するため、例年下期偏重
- 通期売上計画を変更、修正目標に対して第3四半期時点での売上高進捗率は73.7%
- 将来の売上貢献を見込み、期初計画のエンジニア純増数を増加させる

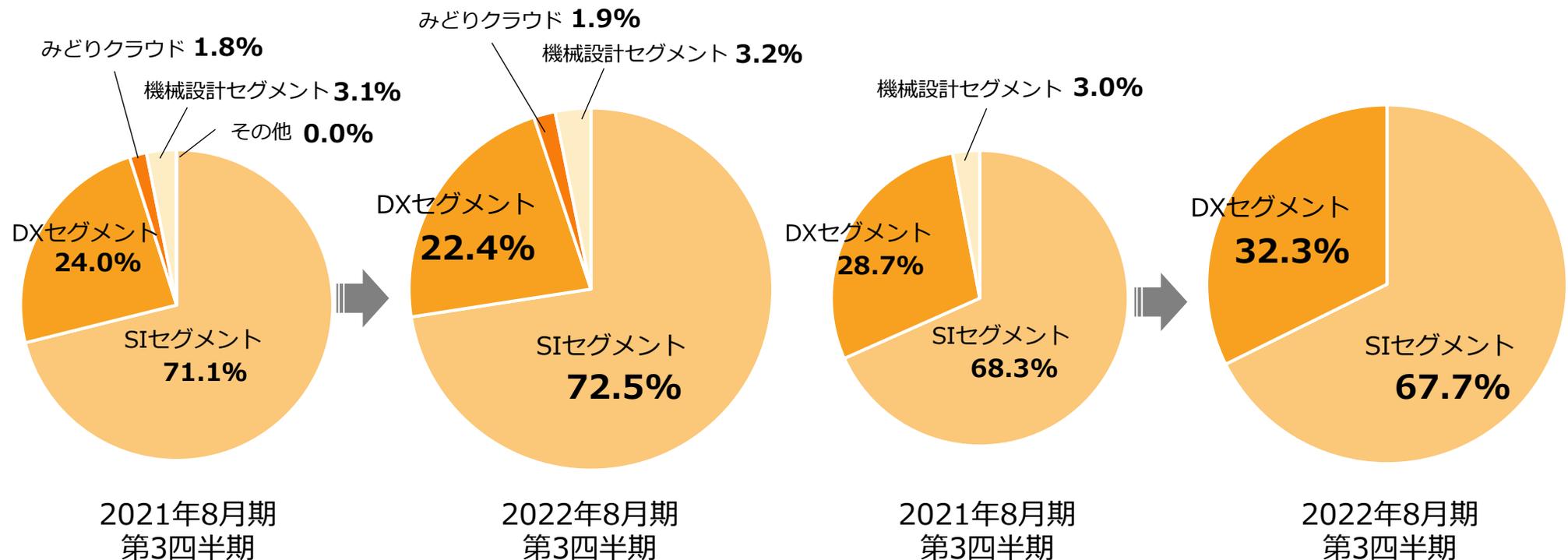


2022年8月期 第3四半期 連結業績サマリー③

- SIセグメントを中心にエンジニアの稼働人数が増加したことで売上全体を底上げ
- SIセグメントにおける市場ニーズは引き続きしており、エンジニア採用を積極化
- DXシフトを推進しつつ、DXセグメントの採用を強化

セグメント別 売上高構成

セグメント別 営業利益構成



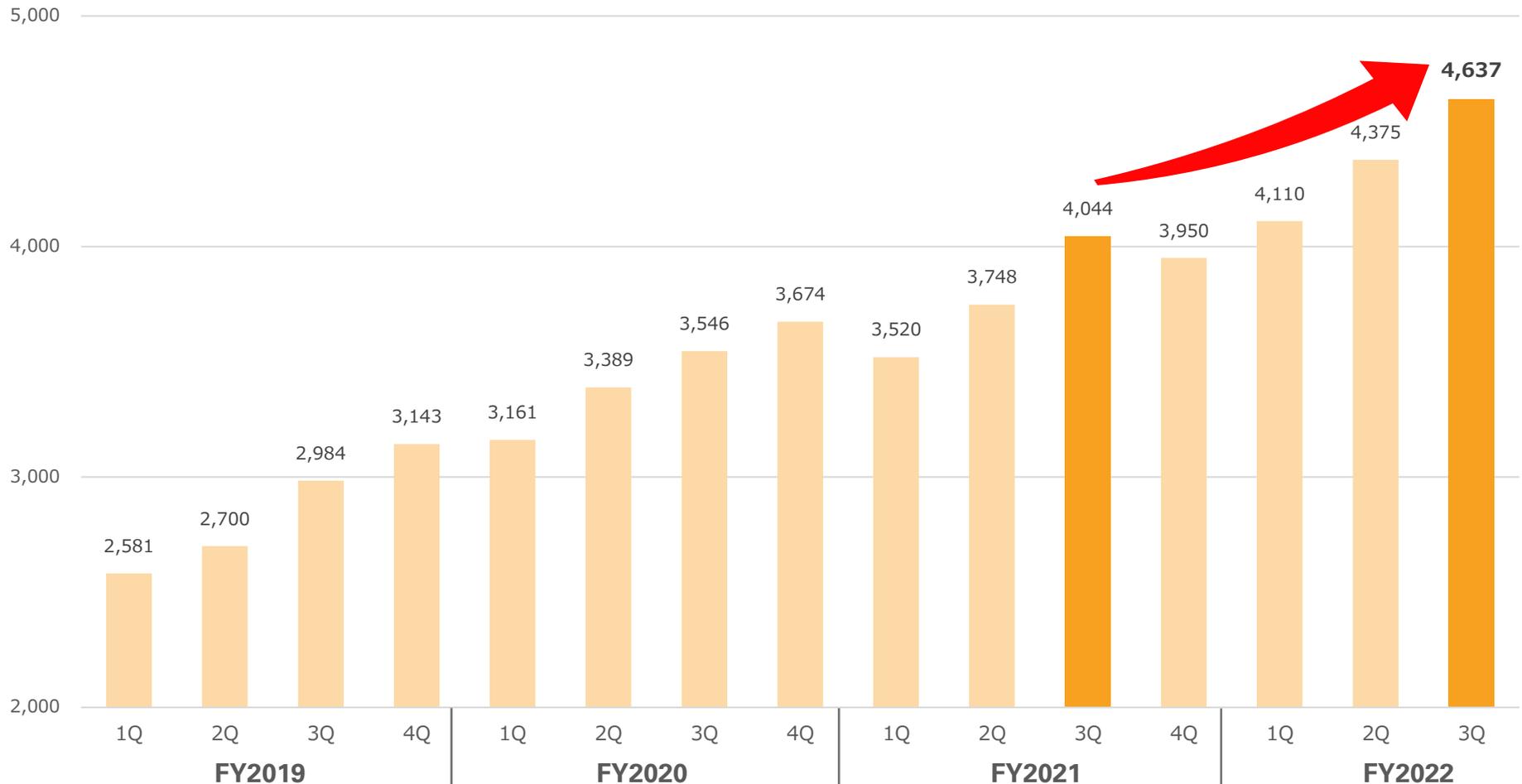
(※赤字セグメント除く)

(※赤字セグメント除く)

四半期連結売上高推移

- 稼働エンジニア数と稼働率に売上高は比例、右肩上がりの成長が続く
- 上期採用によるエンジニア稼働数の増加を受け、過去最高の四半期売上高を達成

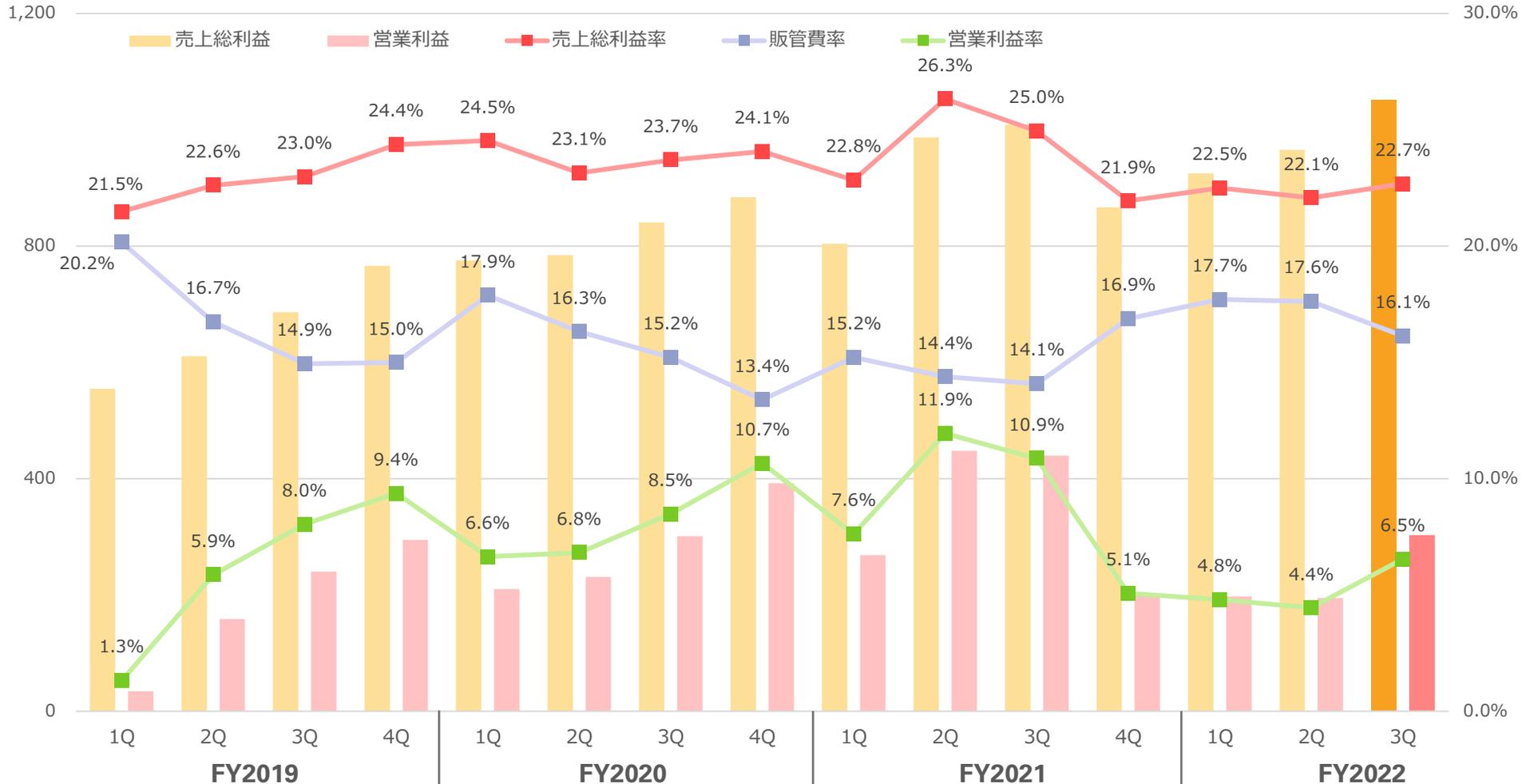
(単位：百万円)



四半期連結利益推移

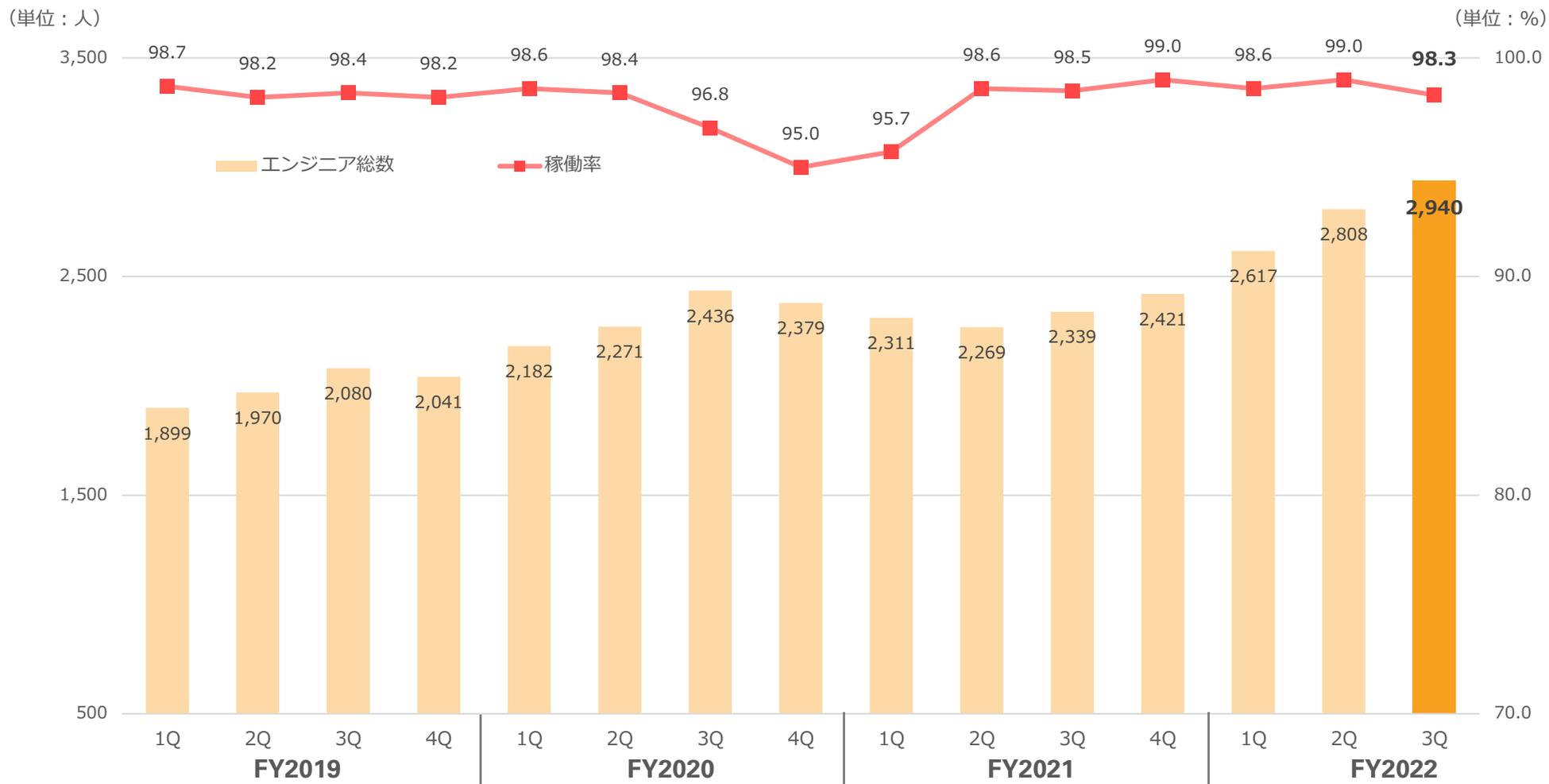
- 2022年8月期第3四半期は上期採用のエンジニア稼働によって各利益率は向上
- 採用・教育への投資は積極的に実施しながら、売上総利益率20%超は確保

(単位：百万円)



エンジニア数推移と稼働率

- 2021年8月期第2四半期以降は稼働率98~99%の推移を辿る
- エンジニア数が増加した一方、2022年8月期第3四半期の稼働率は98.3%

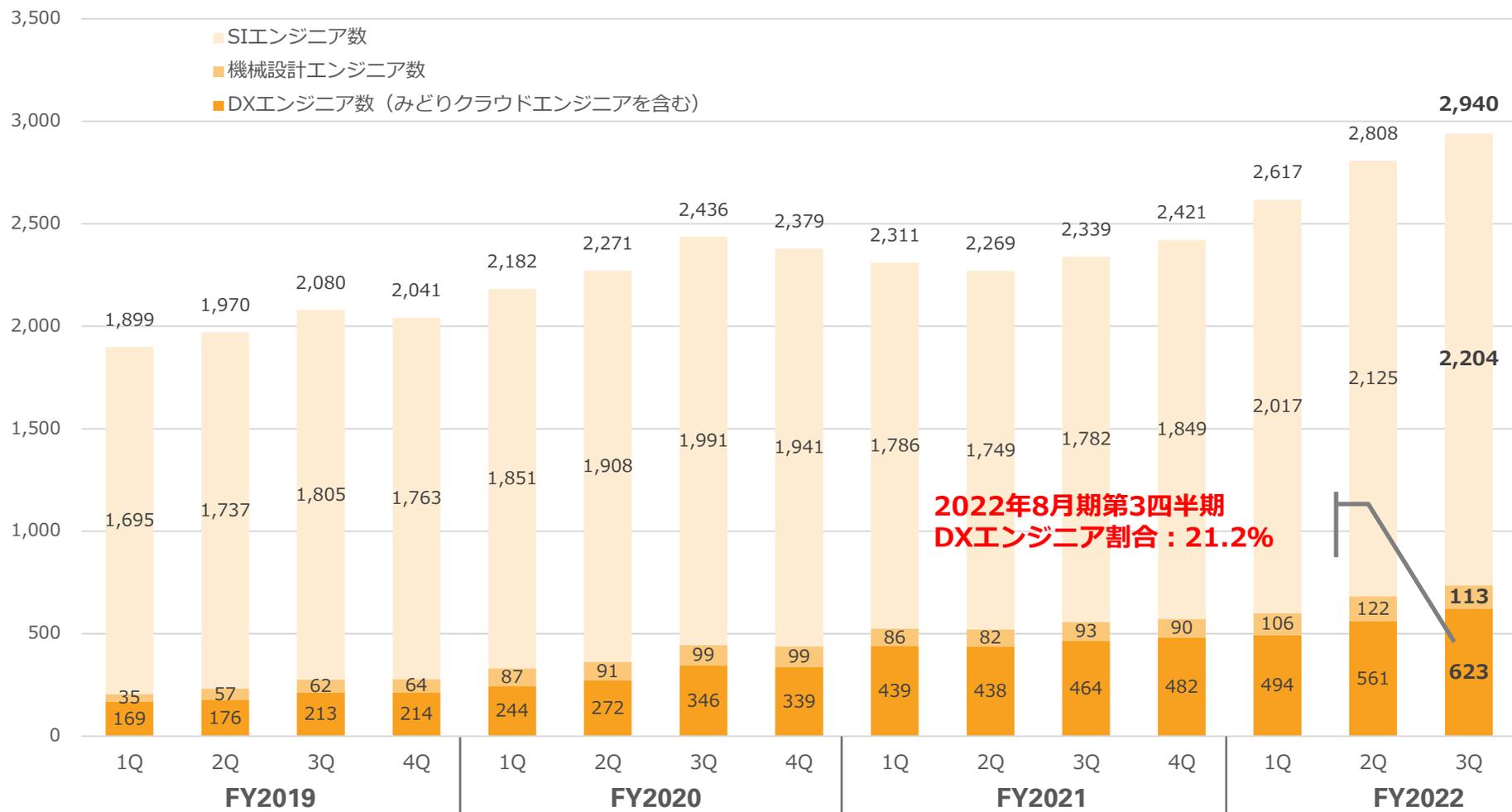


※稼働率は初期研修を修了した人員に対する稼働率とする

エンジニア数推移とセグメント内訳

- 未経験者採用強化により、SIセグメントの増加数が好調に推移
- カスタマーサクセス、みどりクラウドの部門を中心にDXエンジニアの採用を強化

(単位：人)



エンジニアの教育環境

- 実践型研修を可能とする教育環境でエンジニアのスキルアップを実現
- DX分野におけるエンジニア資格の取得に注力
- エンジニアの教育環境を整えることで、更なるエンジニア単価の向上を目指す

Microsoft関連資格取得数

「Microsoft Azure」の導入実績に裏付けられた技術力と活用実績が認められ、クラウドプラットフォーム分野における最高位である「Gold Cloud Platform コンピテンシー」を取得。

資格例

- AZ-900 : Microsoft Azure Fundamentals
- AZ-103 : Microsoft Azure Administrator
- AZ-104 : Microsoft Azure Administrator
- DP-100 : Designing and Implementing a DataScience Solution on Azure

他多数

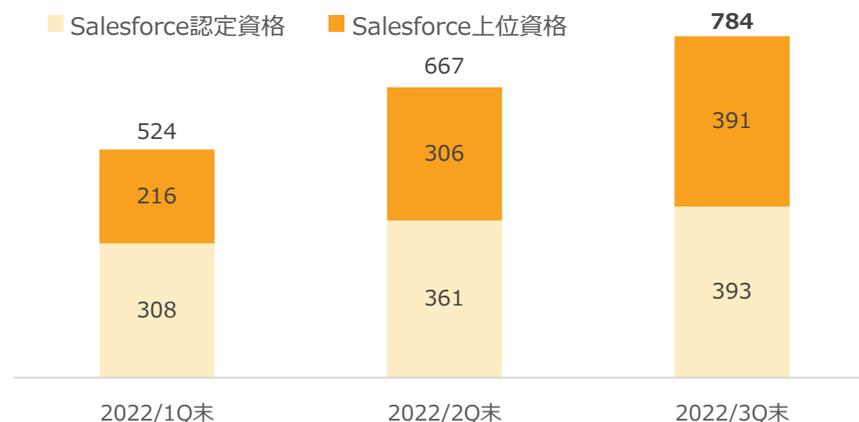
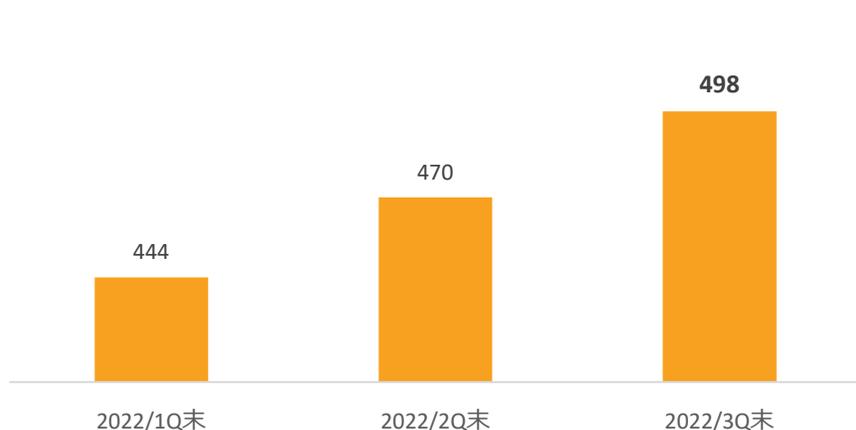
Salesforce認定資格取得数

「上位資格の取得数」と「資格取得の増加率」において、Salesforceのリソース拡大へ最も貢献したことが評価され、「Salesforce Partner Summit 2021」にて「Top Certification of the Year」を受賞。

資格例

- Sales Cloud コンサルタント
- Experience Cloud コンサルタント
- Field Service Lightning コンサルタント
- Community Cloud コンサルタント
- Tableau CRM and Einstein Discovery コンサルタント
- Pardot コンサルタント

他多数

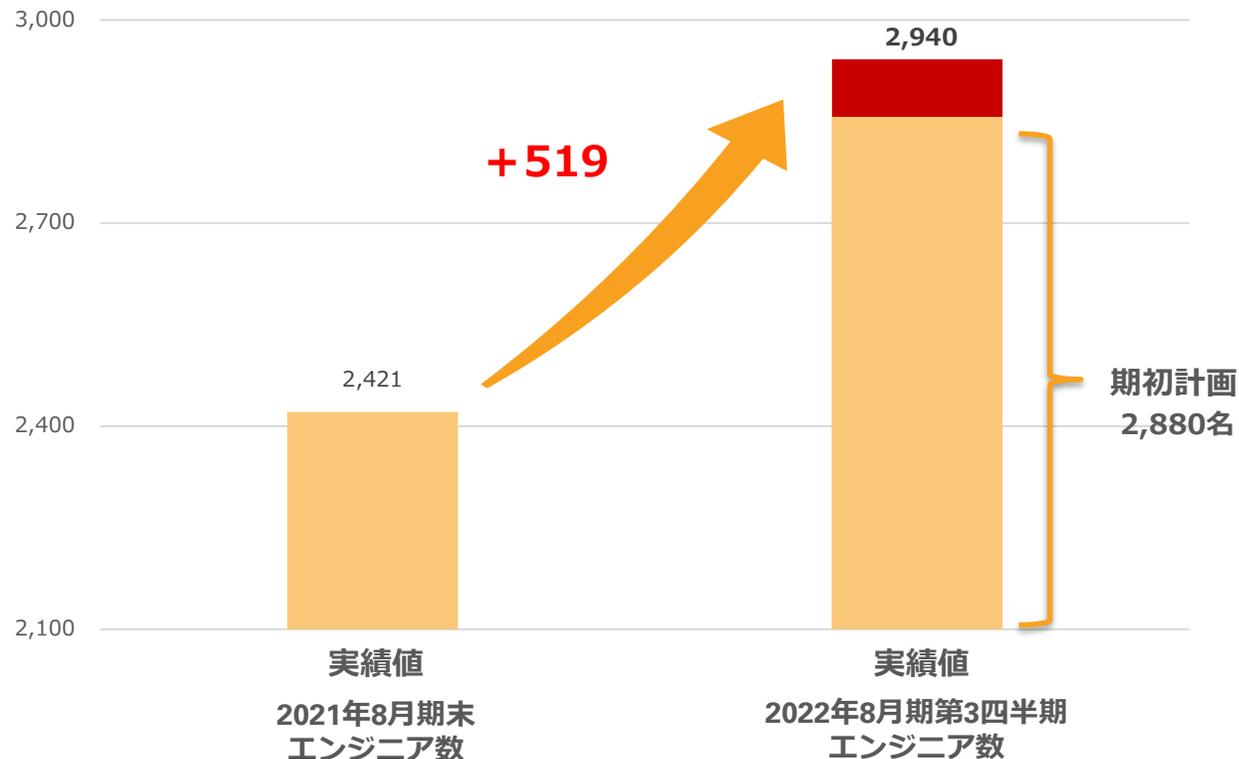


エンジニアの採用活動状況

2022年8月期第3四半期末時点で 期初計画の年間純増数を達成

- 2022年8月期第3四半期末時点でのエンジニア数は2,940名
- 採用状況は好調に推移し、年間のエンジニア純増計画を超える
- エンジニア数の増加が将来の売上に貢献

(単位：人)



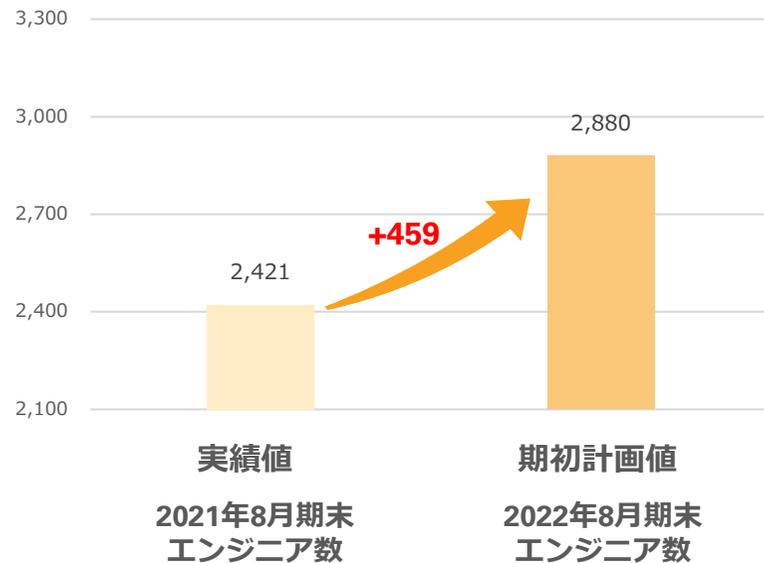
エンジニア採用計画の変更

来期以降の成長に向け採用を継続 2022年8月期末エンジニア3,070名を目指す

- 期末エンジニア数は、期初計画から+190名の着地を見込む
- 2022年8月期のエンジニア純増数の変更は、将来の売上に貢献
- 2022年8月期は当初計画を上回る採用・教育投資が発生

期初計画

(単位：人)



計画変更後

(単位：人)



トピックス

- 2021/3/30 **NTTデータ社と協業、3年間で500名のビジネス変革人材を創出**
Salesforce導入企業に対する定着化支援を起点としたビジネス変革支援サービスを共同で立ち上げ、2021年4月1日より提供
- 2021/4/30 **みどりクラウドとAIを活用した青果流通支援プロジェクトが採択**
農林水産省「革新的営農支援モデル開発」事業にてみどりクラウドとAIを活用した青果流通支援プロジェクトが採択
- 2021/7/27 **マイクロソフト社が定める「Gold Cloud Platformコンピテンシー」を取得**
「Microsoft Azure」の導入実績に裏付けられた技術力と活用実績が認められ、クラウドプラットフォーム分野における最高位を取得
- 2021/8/31 **デジタルヘルスケアサービス「バイタルプログラム」のベータ版をリリース**
従業員の健康増進、メンタルヘルスケアと生産性改善を目的とする、AIを活用したクラウド型デジタルヘルスケアサービスをリリース
- 2021/10/28 **施設園芸用資材において高いシェアを持つ東都興業社と業務提携**
施設園芸用資材で60年近いの実績を持つ東都興業社とビニールハウス用電動換気システムのIoT化技術開発における業務提携を実施
- 2022/2/1 **りそなホールディングス社設立のDX支援子会社へ出資し、合併事業へ参加**
Salesforceを中心に多様なDX推進ニーズへのソリューションを提供する事業をりそなグループを中心にした企業との協業により開始
- 2022/4/1 **WalkMe社と国内初のカスタマーサクセスパートナー契約を締結**
WalkMeの定着・活用支援を担う技術者を創出、WalkMe社と融合してより高度なSalesforceの定着・活用サービスを提供
- 2022/6/1 **東京大学大学院と共同で「デジタルメンタルヘルス講座」を設置**
「バイタルプログラム」の機能拡充や品質向上に活かすほか、メンタルヘルスケアに関する社会課題の解決を目指す
- 2022/6/6 **未上場IT企業へのセカンダリー投資事業を開始**
当社の「採用力、教育力、営業力」の強みを活かし、課題をもつIT企業の事業再生や再成長を支援する事業を開始

Ⅲ.2022年8月期取り組みと 成長ビジョン

2022年8月期通期 連結業績予想の修正について①

- エンジニアの増加に対応した営業体制の拡充が必要
- 採用費および初期教育費用などの将来への投資が当初計画と比較して増大
- 採用計画の変更は当社施策によるものであり、配当は期初計画からの変更を行わない

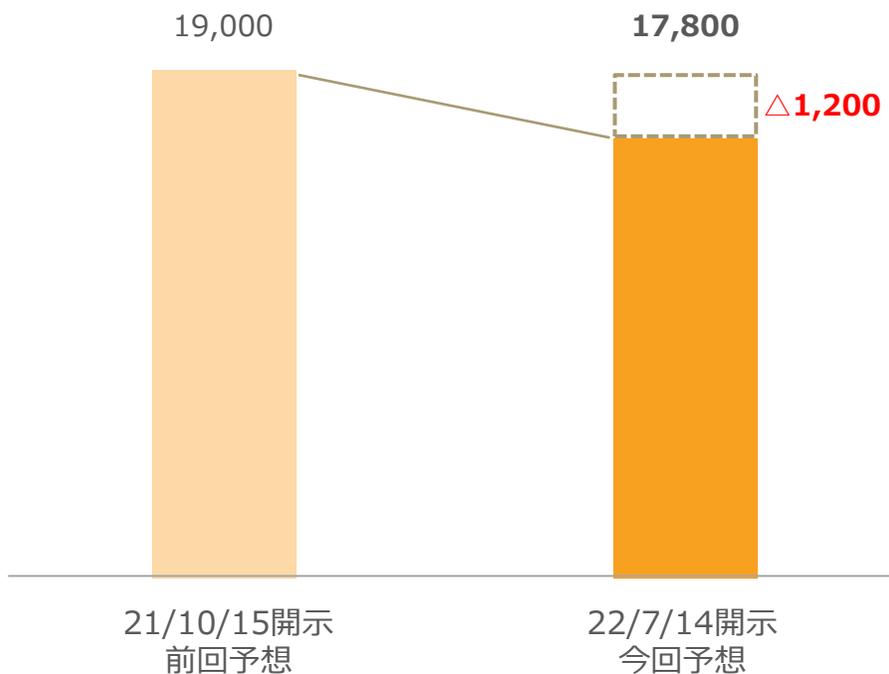
(単位：百万円)	2021年8月期 実績	2022年8月期 計画			
		前回予想 21/10/15開示 (A)	今回予想 22/7/14開示 (B)	構成比	予想増減額 (B-A)
売上高	15,263	19,000	17,800	-	△1,200
営業利益	1,356	1,550	860	4.8%	△690
経常利益	1,836	1,900	1,400	7.9%	△500
当期純利益	1,240	1,250	910	5.1%	△340
配当	5.6円	8.6円	8.6円	-	-

2022年8月期通期 連結業績予想の修正について②

- エンジニア採用強化（計画対比+190名の純増見込）による先行投資の発生
- 新型コロナウイルスの収束によってIT人材の流動性が高まり、退職者数が増加
- ソリューション型サービス（請負サービス）における計画未達

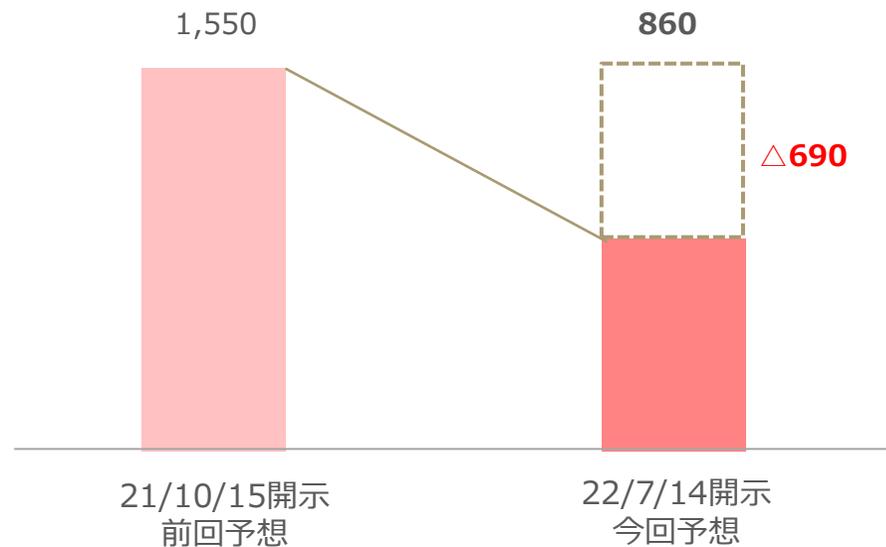
売上高

(単位：百万円)



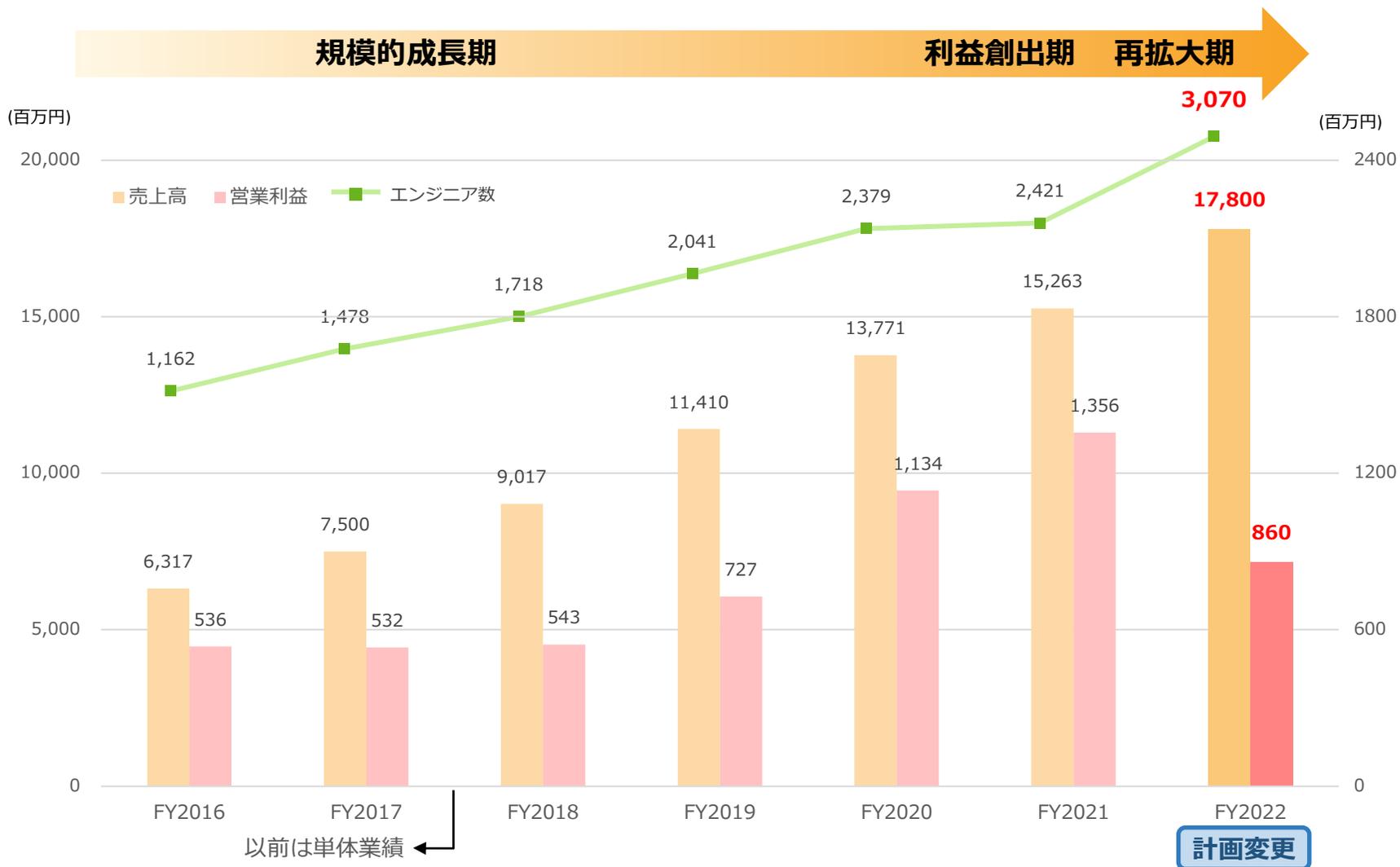
営業利益

(単位：百万円)



2022年8月期 通期計画

- エンジニアの増加と共に高い売上成長率を維持
- 2021年8月期第3四半期より利益創出期から再拡大期へ移行し、成長性は加速



今後の成長への見通し

- 市況は好調であり、営業体制を拡充することで継続的な成長を実現する
- エンジニアの離職対策を進める

第4四半期採用強化によって来期に向けた成長力を獲得

- IT人材の採用が困難な市況下においても、当社の採用力の優位性により計画以上の採用を実現
- 当期のエンジニア純増数は649名（期初計画対比+190名）、過去最高のエンジニア数の増加を見込む
- 来期の採用を前倒しで実施することにより、売上高の成長基盤を早期に構築

エンジニアの長期的な活躍の実現による退職者数減

- DXシフトの取り組みにより、エンジニアの付加価値向上を実現
- 各種人事制度やキャリア支援施策の整備を進める

営業力の更なる強化

- 2023年8月期第1四半期までに現状に対し30%以上の営業人員増を実施
- 現在の取引先数（約600社）の10倍程度存在する見込顧客層への営業活動に取り組む

2022年8月期 成長ビジョン

「拡大期」として、積極採用、教育・営業による規模拡大、エンジニアのDXシフトに取り組む

- 採用・教育によるエンジニア数の増加を最注力テーマとし、当初計画を上回る採用を実施
- Salesforce、Microsoftの上位資格者創出を中心としたDXシフトを継続、高利益体質を強化
- 農水産ソリューション領域の案件創出に注力、同領域での実績ナンバーワンを目指す
- デジタルヘルスケア事業「バイタルプログラム」のベータ版提供を開始、当面は事業育成に注力

人材創出

- 業界経験者採用に加え、未経験者採用・育成によってエンジニア数は増加
- 新規開設した研修施設「Tech Lab」における実践型プロジェクト教育を拡大

既存事業

- プライム化とパートナー強化に注力
- DXシフトを継続し、高利益率・高成長案件の拡大に取り組む
- 案件創出のためのアライアンス活動を各事業領域で展開
- 検証領域など、技術トレンドに合わせた事業拡大
- 大企業向けERPパッケージ「COMPANY」運用支援事業の拡大

新規事業

- 企業・公共向け農水産ソリューションの規模拡大と案件創出に注力
- 「デジタルヘルスケア領域」の新サービス育成に注力

経営基盤

- 管理体制強化やシステム基盤の整備を継続

期末エンジニア数

計画変更

3,070名（純増649名）

Salesforce資格取得数

+ 400件

Microsoft資格取得数

+ 250件

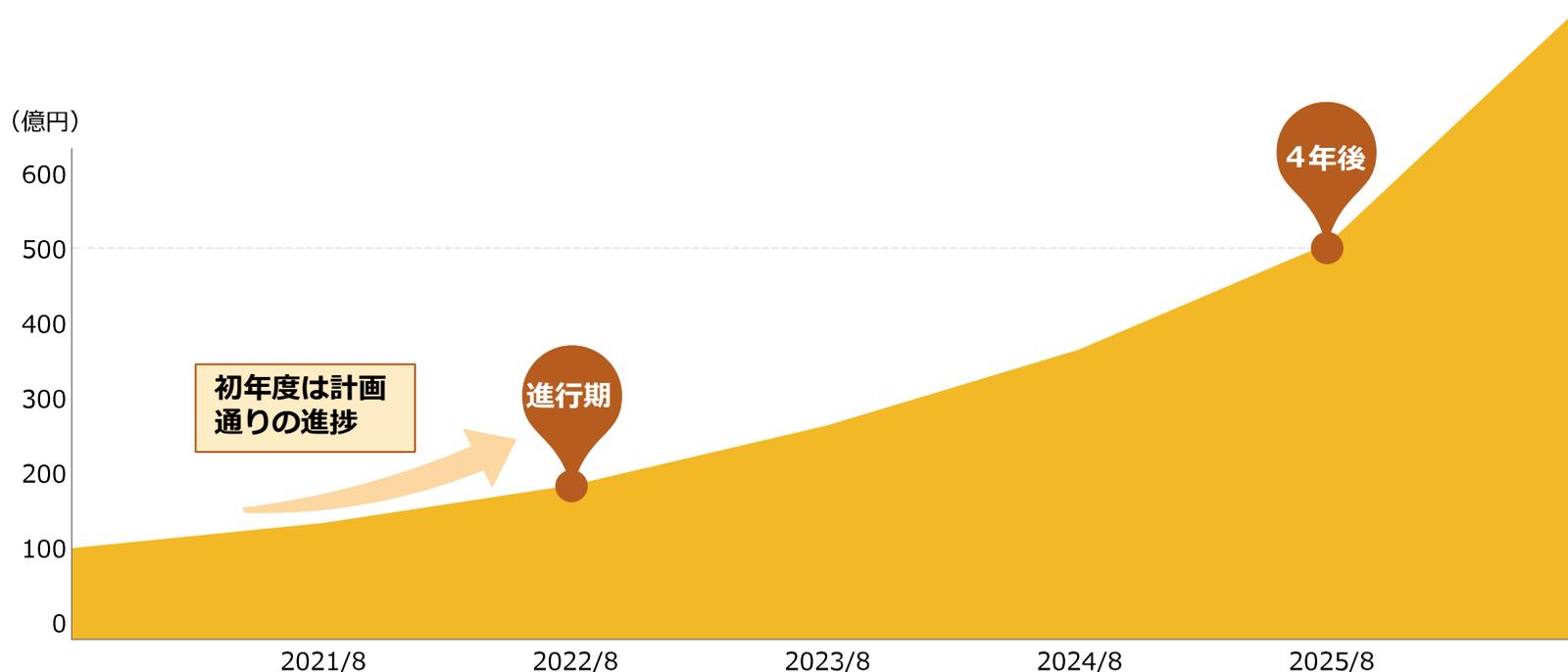
農水産ソリューション案件

+ 50件

2025年8月期に売上高500億円を達成する中期経営計画

初年度は計画通りの進捗。計画2期目となる2022年8月期も着実な計画進捗を見込む

- 教育型IT人材創出を起点に、事業での多様な活躍の場の提供により、エンジニアの自己実現と永続的な企業成長を実現
- 安定したニーズが見込めるSI事業での規模的成長と、DXシフトによる高利益率・高成長率を両立する事業展開
- 大手クラウドプラットフォーマーとのアライアンスで、運用・定着支援を強みとする成長性を確立
- 既存事業とのシナジーが見込める領域でのM&Aを進め、当社の採用力・教育力・営業力を投入し事業拡大
- 成長性のある社会課題に対してITをベースとした新規事業に取り組み、更なる成長力を獲得



教育型IT人材創出モデルの特長と優位性

教育型IT人材創出モデルは、引き続き高い市場優位性を持つ

- 市場の拡大が見込まれる領域に、先んじて人材創出を開始
- 採用力・教育力・営業力の横展開で技術領域を拡大
- 市場の成長・拡大に合わせて
サービス形態を進化させ事業拡大

2021年～

農水産ソリューションによる一次産業の課題解決やデジタルヘルスケアサービスによる企業の健康経営の実現、大手プラットフォームとの協業や社会のDX化支援に取り組む

2020年～

マイクロソフトプラットフォームの拡大を見据え、年間200名以上の資格取得者の創出に取り組む

2018年～

DX関連領域の市場拡大を見据え、RPA、セキュリティ、データサイエンス、検証領域等の人材創出に取り組む

2013年～

クラウドシステムの市場拡大を見据え、Salesforceエンジニアの人材創出に取り組む

現在はカスタマーサクセス事業として拡大

2008年～

スマートフォンの普及やIoT社会を見据え、スマートテクノロジーエンジニアの人材創出に取り組む

現在はみどりクラウド事業として拡大

2002年～

ビジネスにおけるIT利用ニーズの成長を見込み、ITインフラ・ネットワークエンジニアの人材創出に取り組む

現在はシステムインテグレーション事業（SI）として拡大

1997年～

ウェブシステム領域の拡大を見込み、システム開発事業を開始し、システム開発エンジニアの人材創出に取り組む

現在はシステムインテグレーション事業（SI）として拡大

1995年～

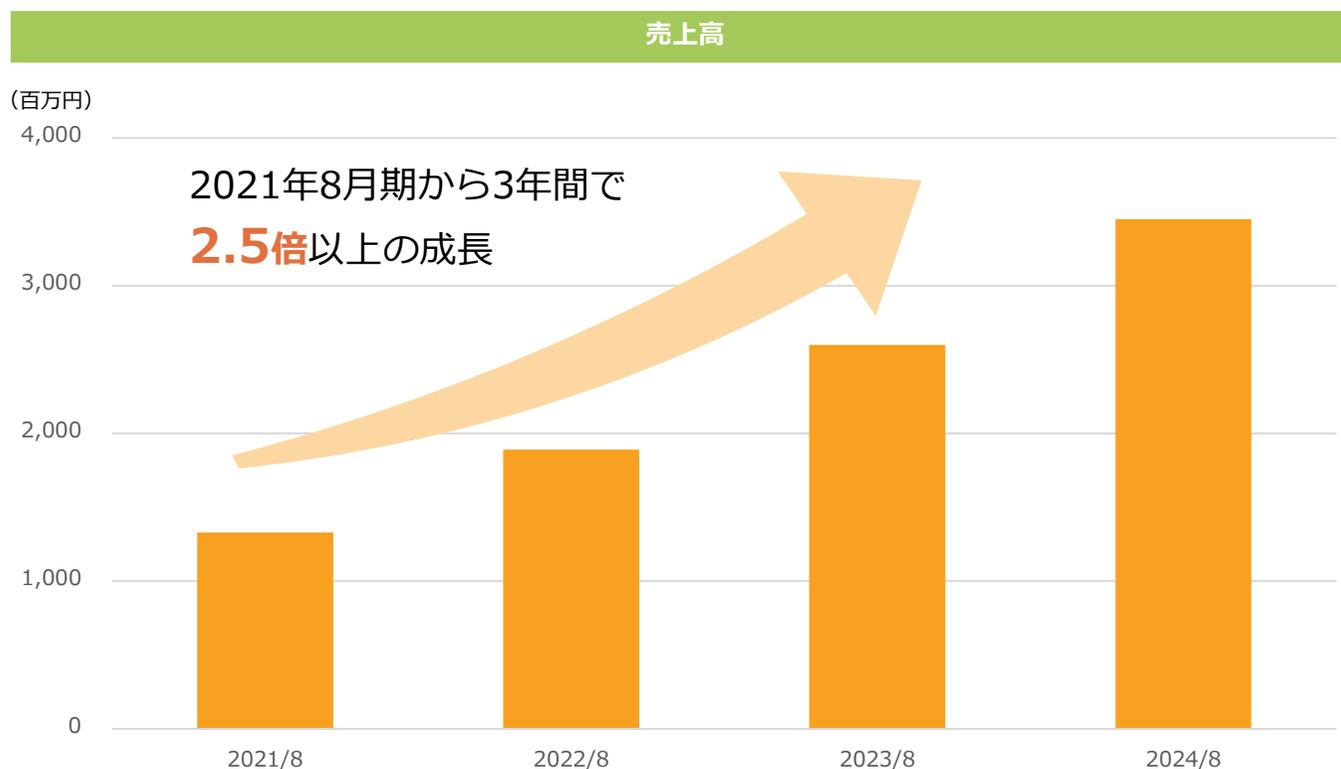
インターネットの普及に先駆けてインターネット事業を開始しWEBエンジニアの人材創出に取り組む

現在はシステムインテグレーション事業（SI）として拡大

DX クラウド&ソリューション事業 成長シナリオ

積上継続型のマネージドサービスとMicrosoftプラットフォームで高利益体質へ

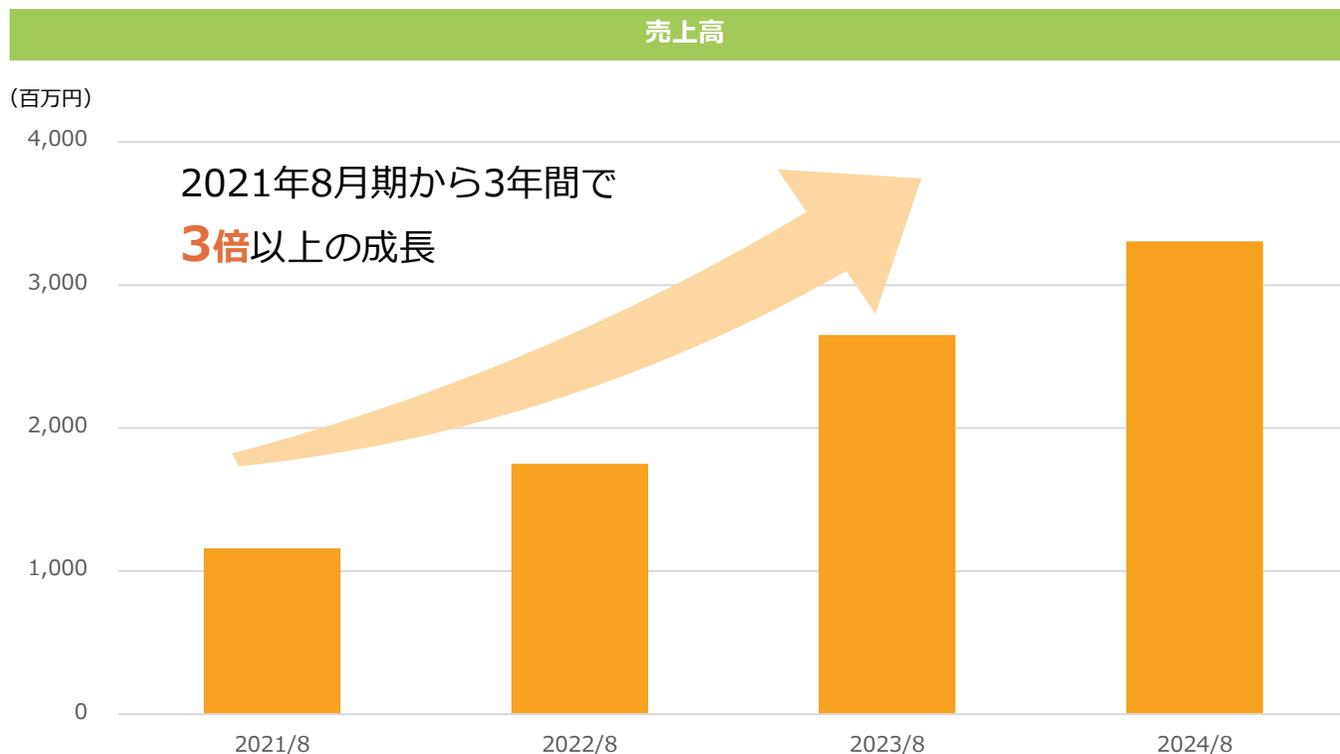
- 日本マイクロソフト社とのアライアンスで認定資格保持者を継続的に育成し、2022年8月期は案件化に注力する
- 成長性の高いマネージドサービス（企業のクラウドインフラ運用を24h365dのセンター型で請負）への人材シフト
- 地方拠点での保守運用・マネージドサービスの事業化に着手
- 収益性の高いプラットフォームリセール、ライセンスリセールに取り組む



DX カスタマーサクセスソリューション事業 成長シナリオ

Salesforceエンジニア創出が順調に進捗。人材育成を加速し、新市場として拡大する「Salesforce定着・運用」の国内ナンバーワンを目指す

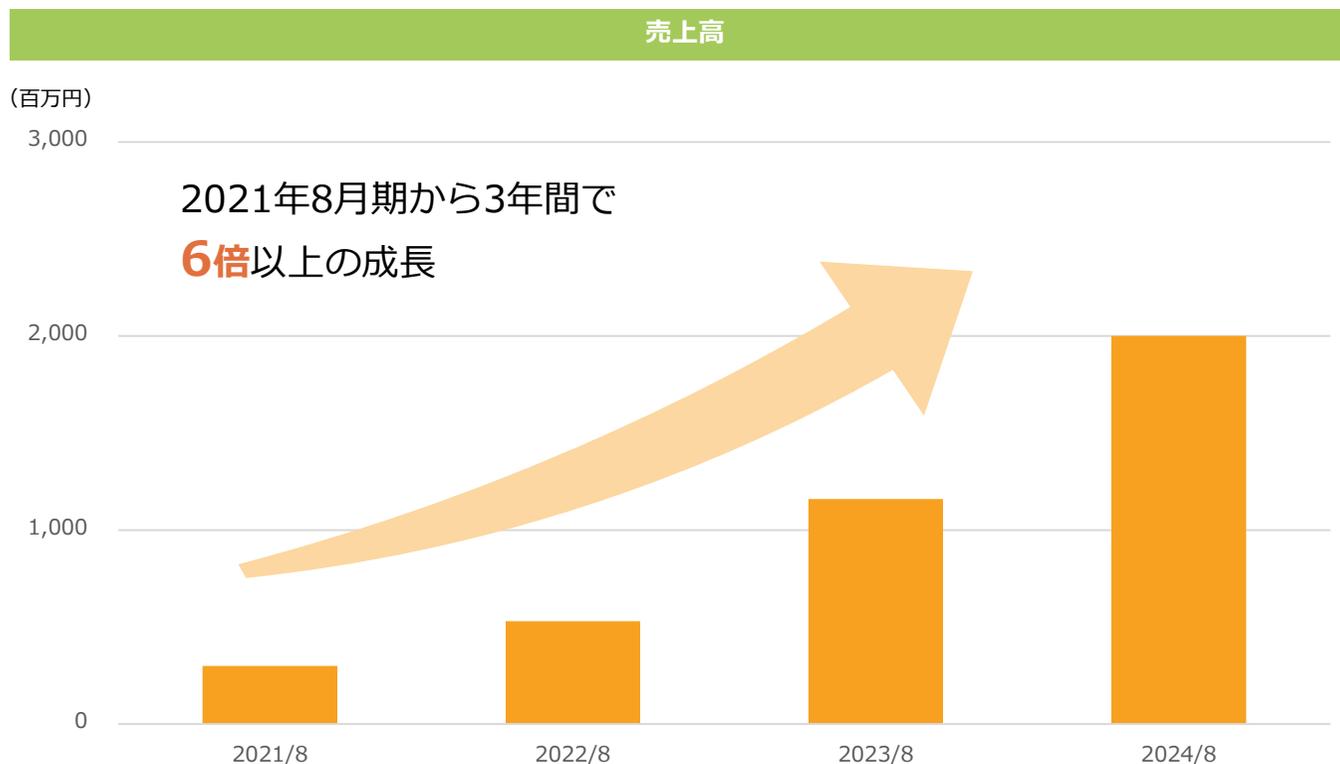
- クラウドITシステムは「定着・運用」「DX推進」のマーケットが拡大すると見据え、先駆者として事業成長に注力
- 定着・運用・DX推進の主体者となる「ビジネス力をもったノーコード・ローコードエンジニア」を育成
- NTTデータ社をはじめとするアライアンス強化で、国内大手企業・成長企業の定着化支援案件を獲得



DX みどりクラウド事業 成長シナリオ

生産支援プラットフォームと、当社のシステムインテグレーション力で 今後大きな市場性が見込まれる「一次産業のDX化」のナンバーワン企業へ

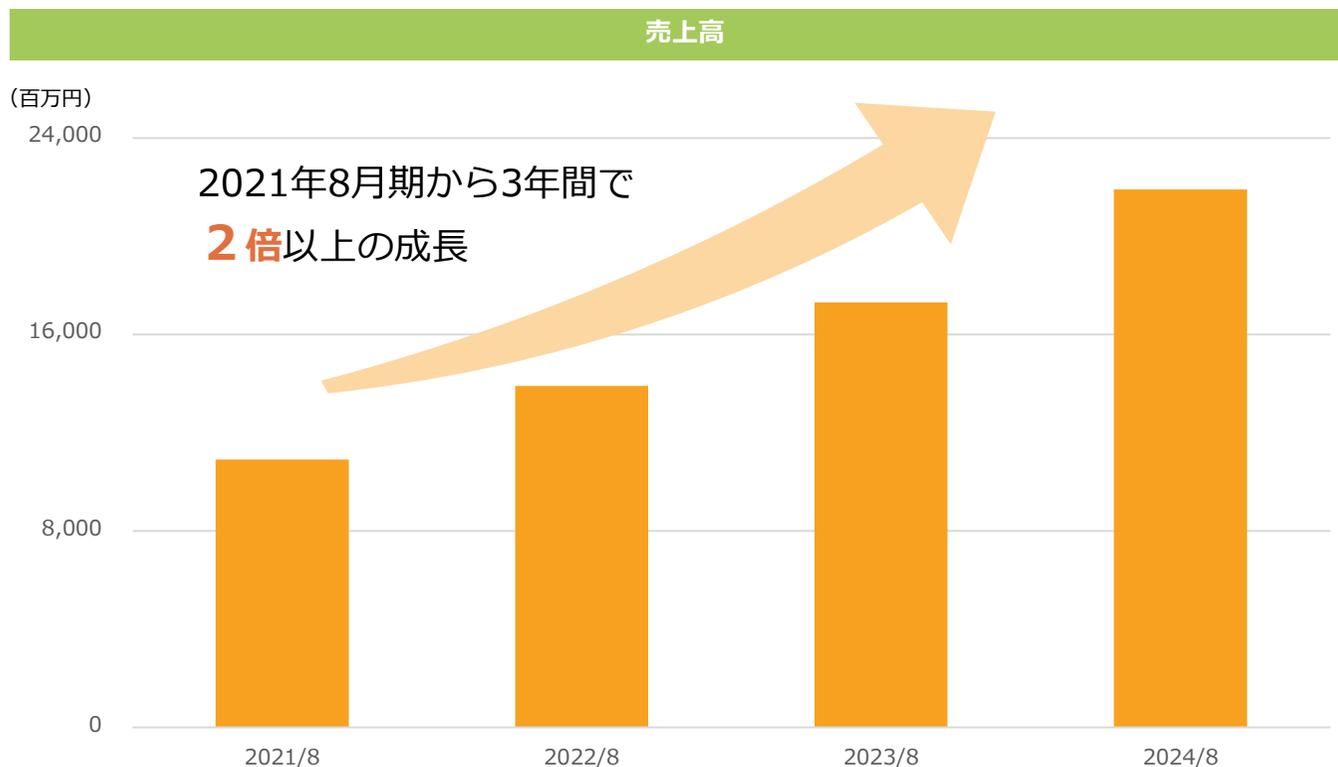
- 生産支援プラットフォームの着実な普及により、生産支援実績の積み上げと農業IT技術の蓄積を継続する
- 企業・公共による一次産業DX化の社会実装フェーズにおいて、大型の農水産ソリューション案件を獲得
- プラットフォーム事業と農水産ソリューション事業のシナジーで、一次産業DX化のナンバーワン企業となる



システムインテグレーション事業 成長シナリオ

採用力・教育力・営業力による規模拡大を最大化し、積上継続型のIT運用と、安定したITニーズが見込まれる産業での案件拡大に取り組む

- 採用・教育によるITエンジニアの創出での規模拡大を最注カテゴリーとし、着実な売上・利益増を見込む
- 営業力に加え、パートナー拡大、アライアンスの強化により事業拡大を加速
- 産業別のITニーズに対して、実践研修や業務知識を持ったエンジニアの育成により大型案件の創出・請負に取り組む
- 検証領域など、技術トレンドに合わせた新規分野の拡大



セラクとESG・SDGsの関わり

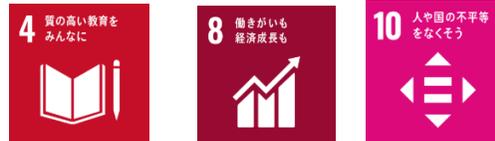
ESG活動を推進することで、セラクグループとして長期の成長基盤を構築し、社会的価値創造企業として、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを強化します。

IT社会におけるシステムの安全な運用



- 持続可能かつ強固なITセキュリティ構築の実現
- 顧客に合わせたIT環境・サービスの提供
- ITによって社会活動の維持を支援

人財育成の推進



- 高度な専門知識をもつ人材の育成
- 継続的なITエンジニア教育の実現
- 若年層の雇用確保と多様な人財の活用

社会への新たな価値創造



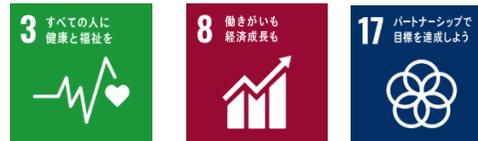
- IT技術で産業の価値を高める
- 人材採用及びIT技術による地方創生
- ITによる高い生産性と低い労働負荷の実現

農業とITの活用



- 農業のスマート化による農業生産性の向上
- IT技術による第一次産業の活性化
- 豊かで安定的な食料の生産

心身共に健康な社会の実現



- デジタルヘルスケアサービスの提供
- ITによる社会課題の解決
- 学術機関との連携

コーポレートガバナンスの高度化



- コンプライアンスの遵守徹底
- コーポレートガバナンスの強化
- 情報開示の充実

将来見通しに関する注意事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。

これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

2022年8月期の予想値につきましては、新たに算出した予想値または決算において差異が生じ、当該差異が開示基準に該当する場合は、速やかに開示をいたします。